

新年のご挨拶

鳩山町長 小峰 孝雄



「安心・安全で健康に暮らせるまちづくり」 を目指して

あけましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

昨年は、町制施行40周年ということで、新型コロナウイルス

対策を講じながら、各種事業を実施して参りましたが、今年も新型コロナウイルスの感染防止に努めるとともに、アフターコロナを見据えた、「安心・安全で健康に暮らせるまちづくり」を推進し、また子育て世代の移住を推進するため、「子育て支援」を今まで以上に充実させたいと考えております。

令和5年の展望に关しましては、はじめに「子育て支援」としまして、令和5年度から「放課後子ども教室事業」を開始いたします。

放課後に子どもたちが安心・安全に活動できる場所を設け、勉強やスポーツ・文化活動、地域の人たちと交流することで、

子どもたちが健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的として今宿小学校の余裕教室等を活用し、敷地内にある学童保育所と連携して事業を実施したいと考えております。

また、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した支援につながる歩走型の相談支援の充実、出産育児関連用品の購入費助成や子育て支援サービスの利用負担軽減を図る経済的支援を一体として実施する「出産・子育て応援交付金」事業を展開するとともに、給食費の助成についても検討していきたいと思っております。

次に、「安心・安全なまちづくり」でございますが、犯罪のなймаちづくりを目指し、防犯カメラの設置を令和2年度から順次進めております。これまでの成果として、刑法犯認知件数の抑制に繋がっているため、今後

も、順次設置箇所を増やして参ります。

また、昨年10月に「町内交通死亡事故者ゼロ」50000日の継続を達成し、県内自治体1位という輝かしい記録を更新して参ります。今後も、交通安全関係機関・団体等の皆様と連携し、この記録を60000日、70000日と継続することで、「安心・安全な町はとやま」を推進して参ります。

次に、「埼玉西部クリーンセンター」でございますが、地元地区の皆様のご理解とご協力をいただき施設整備を進め、昨年12月から焼却を行う試運転が開始されました。地元地区の皆様には、改めて心から感謝申し上げます。

本年4月からの本稼働に向け、焼却施設の立地自治体として、ごみの減量化など、果たすべき役割を十分認識し、「安心・安全」な施設運営に取り組んで

参ります。

次に、昨年9月7日に大東建託株式会社が発表した、「街の幸福度ランキング2022(首都圏版)」で鳩山町は2年連続の1位になりました。

私が町長に就任して以来、町民の皆さまが「鳩山町に住んで幸福」と感じていただくための基本となる「安心・安全で健康に暮らせるまちづくり」を積極的に推進して参りました。

今後とも、鳩山町に住んで幸せを感じていただけるような「まちづくり」に全力で取り組んで参りますので、町民の皆様のご理解・ご協力を宜しくお願いいたします。

結びに、今年の干支は「卯年」となりますが、皆様にとりまして、「何事も卯(う)まく行く」、素晴らしい年になりますことをご祈念申し上げます。簡単ではございますが新年のご挨拶とさせていただきます。